

経費維持の圧縮や使用料の収入を増やすため、下水の接続率の向上を図ることが必要と考える。

使用料について、農業集落排水の定額制を、公共下水と同様の従量制へと一元化が必要と考えるが、いかがか。

策定中の田原市下水道事業経営戦略を踏まえて、一元化、また、料金の見直しを視野に入れ、検討する。

(以上3/16予算決算委員会)

以上3/16予算決算委員会

## 討 論

議案に対する  
本会議での議員の  
賛成・反対の表明です

議案 No.18

令和3年度一般会計予算

反対(岡本重明)

断腸の思いで、反対する。地域の切望による温泉事業であるにもかかわらず、地域から、湧出量14・5ℓ/分、25・6度の温泉活用案がほとんど出てこない

ことは腑に落ちない。本湯設備が、今後出てくるであろう温泉活用案に適したものかどうかからないので、現時点での建設は時期尚早と考える。

賛成(内藤 浩)

新年度予算は、温泉活用の支援、プレミアム付き商品券の発行による市内消費の喚起、若い世代の結婚後の経済的不安の軽減、子育て支援の充実、学校の規模に関わらない質の高い授業の提供、さらなる地域防災力向上の対策がとられた予算となっているため、賛成する。

議決 第2号

市議会議員の議員報酬及び期末手当の減額に関する条例の一部改正

反対(平松昭徳)

議員報酬の額は、田原市特別職報酬等審議会において検討され決定する。昨年5月の臨時会で本条例が提出された前後の状況は、国の緊急事態宣言が全国に出され、議員としての活動が全く見通せない状況であった。その後、さまざまな支援が行われ、議会活動も工夫をしながら実施できたことなど、議員活動の在り方も考慮した結果、反対する。

賛成(小川貴夫)

現在の経済状況を考えると、報酬減額を元に戻すことは承認できない。さまざまな経済対策は行われてきたが、市内の状況は昨年と差はなく、抜本的な景気回復はまだまだである。報酬減額分を市内の農業者、漁業者、観光事業者のために使ってほしい。

反対(大竹正章)

平松議員が述べた意見に同意する。議員として発議することの重さ、そして根拠の示し方など、議決提案の根拠が薄いという一点をもっても反対する。

賛成(岡本重明)

議員として市民の苦しみを享受しようという姿勢から報酬減額の期間延長を提案した。いい経済的予測は出ているかもしれないが、実際に財源になるのはまだ先の話。議員として矜持の念をもつてもう1年間、というつもりで賛成する。

賛成(廣中清介)

前回の減額も明確な根拠は無かったと記憶している。今回の提案は、現在の10%減額を継続しようというもの。満額の仕事をした上での1割返上に意味がある。これこそが議員としての矜持。減額分が感染防止対策やワクチン接種事業に活かされることを希望する。

## 賛否が分かれた議案

本会議では、議案に対して一人ひとりの議員が賛成・反対の意思表示をします。今定例会では、以下の議案の賛否が分かれました。賛成・反対の討論はこのページに掲載しています。また、その他の議案は、全会一致で可決しました。

議案番号	議案名 (一部省略)	結果 (賛成:反対)	岡本重明	赤尾昌昭	鈴木和基	廣中清介	古川美栄	長神隆士	内藤喜久枝	辻史子	小川貴夫	岡本禎稔	平松昭徳	太田由紀夫	内藤浩	村上誠	仲谷政弘	中神靖典	大竹正章	森下田嘉治	
18	令和3年度一般会計予算	可決 (15:2)	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議決2	議会の議員の議員報酬及び期末手当の減額に関する条例の一部改正	否決 (3:14)	○	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—

○…賛成 ×…反対 —…議長は議決に加わらない